

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kvodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

「憲法の早期改正を求める意見書」等、採決の動き

全国の地方自治体に自民党らが「憲法の早期改正を求める意見書」を提出し、強行採択する動きが強まっています。新憲法制定を求めている保守系団体「日本会議」によると、同様の意見書は10日現在、全国16県議会で可決されているとしていますが、11日には山口・埼玉県議会で採択されましたので、現在18県議会と推測されます。

高知県議会は7月4日日本会議に「集団的自衛権行使容認に反対する意見書」を県民クラブと共産党が共同提案、自民党と公明党が反対討論。採決では共産(5)、県民クラブ(2)、中内桂郎、上田周五、高橋徹が賛成、自民(20)、公明(3)、ふぁーまー土居、横山浩一が反対して、賛成10反対25で否決されました。しかし自民党が提出していた「憲法の早期改正を求める意見書」は、自民党が賛成討論、共産党が反対討論を行い、採決の結果、自民(20)、横山浩一、ふぁーまー土居、高橋徹が賛成、共産(5)、県民クラブ(2)、公明(3)、中内桂郎、上田周五が反対して、賛成23反対12で可決されました。

また、山口県議会は11日、国会に対し憲法改正に向けた議論を求める意見書案を自民党や公明党などの賛成多数で可決して閉会。意見書案は、自民党議員らが提出。家庭や教育、環境、外交安全保障情勢の変化などを指摘し、「憂慮すべき課題が山積している」と主張。憲法改正案の早期作成を求め、国民への説明や幅広い議論の必要性を訴えています。本会議で民主・連合の会の加藤寿彦氏は集団的自衛権の行使容認を批判した上で、改憲論議を行えば「(アジアで)更なる緊張が高まる」と反対しました。

さらに、埼玉県議会の6月定例会最終日の11日に、自民党県議団が「憲法改正案の早期作成を求める意見書」(案)を本会議に提出し、賛成多数で採決が強行されました。これに対して、埼玉憲法会議と秘密保護法の撤廃を求める埼玉の会は、「日本と埼玉の未来に重大な禍根を残すもの」との抗議声明を出しました。

早期改憲を求める意見書採択に抗議する

本日(7月11日)の埼玉県議会本会議に、自民党が「憲法改正案の早期作成を求める意見書」(案)を提出し、数の力で採択されました。

「意見書」は、日本国憲法は施行以来、「一度も改正が行われていない」などと述べていますが、それは多くの国民が、憲法の理念を尊重し、大切にしてきたからであり、戦後70年近くにわたり戦争をおこなわず、戦争によって「殺し、殺される」ことがなかったことは、世界に誇るべきことです。7月1日に安倍政権が、憲法解釈を変えて集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を強行したことに対し、共同通信社の世論調査によると、60%の人が「妥当だったと思わない」と答え、不安感を露わにしています。

こうしたときに、建議会で、早期改憲を求める「意見書」を採択したことは、国民の不安感に背を向け、安倍政権がすすめる「戦争する国」づくりに手を貸すものと言っても過言ではありません。埼玉県議会の見識が問われるだけでなく、日本と埼玉の未来に重大な禍根を残すものです。私たちは、強く抗議するとともに、日本国憲法をくらしに、外交に生かす政治の実現に向けて、ひきつづき力を尽くすことを表明いたします。

2014年7月11日

埼玉憲法会議 秘密保護法の撤廃を求める埼玉の会

戦争する国づくり反対！閣議決定は撤回せよ！

憲法共同センター 緊急国会前行動を開催



集団的自衛権行使容認の「閣議決定」について、衆院予算委員会で集中審議が行われた14日夜、憲法共同センターは国会正門前で抗議行動を開催。緊急な呼びかけにもかかわらず、1200人が参加しました。

集会の冒頭、全労連の小田川事務局長が「国民は集団的自衛権行使も閣議

決定というやり方も認めていない。この声を突きつけ、閣議決定の撤回、そして関連法の提出を許さないたたかいをすすめよう」と主催者あいさつ。日本共産党の笠井議員が、衆院予算委員会の様子を報告し、国会内外力を合わせ、「閣議決定」を撤回させましよう」と訴えました。

各団体から発言…閣議決定、絶対に撤回

憲法会議代表幹事の吉田さんは、「国民を無視して閣議決定でいとも簡単に海外で武器を使う国にしてしまうのか。国民の安全のために武力が必要か?」と問いかけ、9条、立憲主義をことごとく踏みこむ「閣議決定」を撤回させ、戦争につき進む動きをストップさせようと決意を表明しました。また全労連の高橋副議長は、「たたかいはこれから。戦争する国づくりは認めない。お互いに奮闘しよう」と呼びかけました。ほかに民医連、新婦人、民青、農民連、自由法曹団、全商連の代表も「憲法9条をまもれ」「閣議決定は撤回せよ」と訴えました。

1 分間リレートーク…怒！怒！怒

集会参加者15人が怒りのリレートーク。富士宮から参加の男性は、「日本の役割を考えろ。誰のために政治をやっているんだ」と安倍政権の暴走に怒り心頭の訴え。北海道旭川市から参加した高校の教員は、「生徒が殺し殺されるのは、たまらない。子どもたちを戦場に絶対送らない」と訴え、22才と18才の子を持つ親からは、「戦場に送るために子どもを育てて来たんじゃない」と。つくば市から参加の男性は、「いつまでも国民をだませるなんて大間違い」。最後に訴えた若い女性は「あの人たちこそ多数と思っているが、私たちの9条守れの方が多数。声をあげ引きずり落とそう」と力強い決意がのべられました。

集会の最後に国会に向け「集団的自衛権の行使は認めない」「閣議決定は撤回せよ」「9条守れ、憲法壊すな」とシュプレヒコールをおこないました。



◆各地のとりくみ◆

高知 憲法破壊を許さない—集団的自衛権容認閣議決定の暴挙に抗議行動—

7月1日与党合意で閣議決定の報道をうけ、高知憲法会議は緊急の昼休み集会を高知市役所前で開き300人が参加しました。基調報告を平和運動センターの山崎議長が行い、閣議決定がされても今後個別法案反対などのたたかいがある、引き続き運動を広げようと訴えました。高知市議会では「集団的自衛権行使に反対する意見書」に公明党が賛成して賛成18反対14で可決されており、市民クラブの田辺議員が経過報告しました。民青の松本顕治さんが青年の立場で発言、元自衛隊員の松本詔道さん、グリーン市民ネットワークの外京ゆりさんも発言し、集会決議を採択しました。

徳島 民医連 9条プラスターを掲げ、抗議の宣伝



徳島民医連では、9日集団的自衛権の閣議決定に抗議し、23名の参加で宣伝・集会を行いました。

山本県連事務局長が、抗議声明を読み上げる中、担当職場以外からも参加された職員がプラスターを高く掲げ、抗議の意を示しました。

山梨 民医連 甲府共立病院院内ニュースより

安倍内閣が集団的自衛権の行使容認を「閣議決定」した7月1日、職員の子ども(高校3年生)宛に、自衛隊から進路説明会の案内ハガキが届きました。「7/2の朝気づいた。何だか娘に召集令状が届いたような気がして恐怖を感じた。朝から気分が悪くなった」と大沼さん。

赤旗記事(裏面)によると1日、防衛省・自衛隊が全国の18歳を対象に募集案内を送りつけ、全国の高校生や保護者から怒りや不安の声があがっているようです。

また、甲府駅北口にも自衛隊へ勧誘する案内板スペースが登場。やはり防衛省・自衛隊への進路説明会のチラシがおいてありました。

集団的自衛権行使容認の閣議決定は新聞各紙の世論調査で5~6割が反対、首相官邸前ほか、各地で抗議デモが拡大するなど、反対の声が広がっています。(裏面はデモに参加した山梨大学医学生の声)

この状況について職場で話をすると、ある職員がつぶやきました。「子どもたちに何も残すものはないけど、平和な社会だけは残したいな…」この先の日本が今後どうなるのか。一人ひとりが本気になって考えることが必要な時なのではないでしょうか?

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかそう！